

Challenge, Chiben!

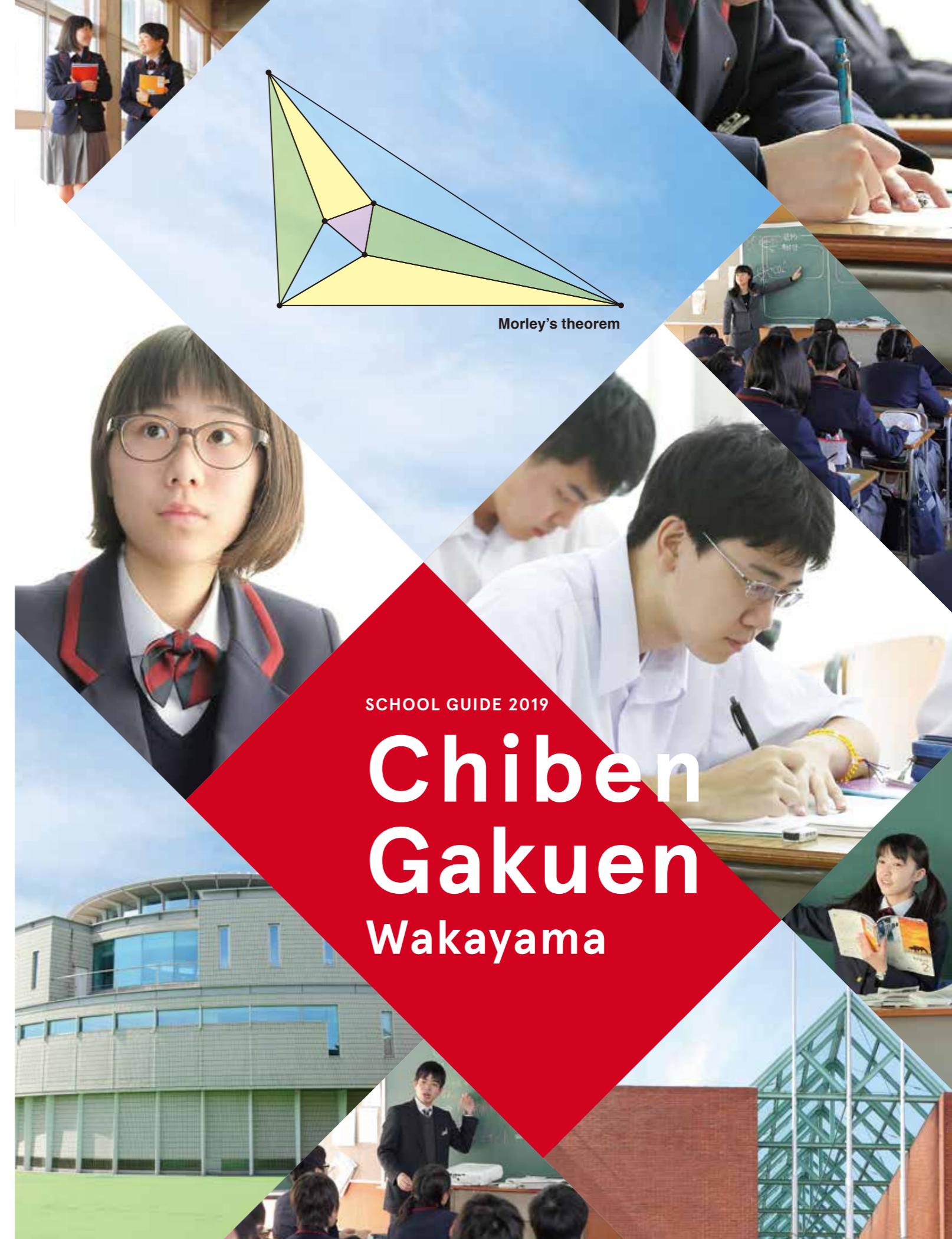
智辯学園和歌山中学校・高等学校

〒640-0392 和歌山県和歌山市冬野2066-1

Tel.073-479-2811 Fax.073-479-1190

<https://www.chiben.ac.jp/wakayama>

併設校 智辯学園和歌山小学校



智辯学園和歌山中学校 智辯学園和歌山高等学校

さらなる高みへ。挑戦がはじまる。

平成30年、智辯学園和歌山は創立40周年を迎えます。

本学園はこれまで、難関大学合格実績、野球部の甲子園出場回数などにおいて、
突出した結果を残してきました。しかし、私たちはまだまだ満足していません。
もっと高いレベルで人々の期待に応えるために、もっと生徒一人ひとりの可能性を広げるために、
これからも挑戦を続けていきます。ご期待ください。



Challenge, Chiben!



教育の原点、教育目標

生徒を実の子どものように思いやり、愛情を持って接する、“愛のある教育”が教育の原点であると考えます。この原点に常に立ち返り、生徒一人ひとりを献身的に支え、“誠実・明朗”で心豊かな人物をはぐくむことが本学園の使命です。四十年前、和歌山の地に教育の場を開いて以来、こうした強い想いは変わることなく、具体的な成果をあげています。確かな実績をもとに、今後も教育に取り組み、生徒全員のさらなる能力向上をかなえたいと願っています。

理事長 高等学校長
藤田 清司



コース編成



Contents

教育の原点、教育目標	01-02	コース紹介I	09-10
卒業生メッセージ	03-04	コース紹介II	11-12
教育の特色I	05-06	スクールライフ	13-14
教育の特色II	07	スクールガイド	15-16
2つのコース	08	インフォメーション	17
		交通アクセス	18

東京大学
文科II類

高橋優太さん
2017年卒



この学園で過ごした6年間は、多くの友人、先生方に恵まれ、貴重な経験ができた素晴らしい時間であったと思います。個性豊かでありますながら、それぞれが高い志を持った仲間と過ごしたこの学園の環境は、自分自身を大きく成長させてくれました。生徒会活動や、応援団員として甲子園で応援するという貴重な経験も得、充実した学園生活はあつという間に過ぎたように感じます。また、勉学の面では放課後にも先生方の熱心な指導を賜り、辛い時には仲間と励ましあいながら受験を乗り越えることができました。今後もこの学園で出会った友人や先生方への感謝の気持ちを忘れることなく、日々様々な経験を積み、努力していきたいと考えています。

東京大学
理科I類

林篤志さん
2017年卒



私は小学校までぼんやりした性格で、遠く和歌山まで電車通学し全く知らない環境に入ることを親に心配されながら智辯学園に入学しました。しかし、その心配を良い形で裏切り、個性的で面白く、かつ志の高い友人や私たちのことを常に考えてくださる先生方に恵まれ、充実した学校生活を送ることができ、人間としても大きく成長することができました。特に中学部のサッカー部ではかけがえのない仲間や思い出ができ、諦めないと努力することの大切さを学びました。高校では応援団に所属し、全校応援を率いるという貴重な経験ができました。そういった一つ一つの経験や友達が大学受験での支えになり、自分をここまで成長させてくれたのだと思います。大学でも応援部に所属し日々活動に励んでいます。

東京大学
理科I類

神前航輝さん
2017年卒



私は、自然豊かな環境の中、個性溢れる先生方や先輩方、同級生、後輩たちの集まる智辯学園で12年間もの時を過ごし、多くのことを学ぶことができました。中でも、吹奏楽部での活動や修学旅行などは私にとってかけがえのない経験となりましたし、アメリカにある姉妹校への短期留学は私の人生を変えるきっかけになりました。智辯学園は、やる気のある生徒にいろいろな道を用意してくれるところであり、またそれだけでなく自分で新たな道を切り拓くことのできる場所もあります。この学園に通った12年間で得たものと、共に青春時代を過ごし苦楽を乗り越えた友人たちは一生の宝物です。

京都大学
工学部

山本周也さん
2017年卒



智辯和歌山で過ごした中高6年間は非常に有意義なものでした。韓国への修学旅行や高校野球の全校応援は、他校ではあまり例がないと大学の友人に驚かれるほど貴重な経験です。学業面では志の高い友達が周りに多くいて、切磋琢磨することができます。また、先生方も熱心な授業をしてください、塾に行かなくとも「学校での授業+自分に合った参考書や問題集」があれば十分です。困った時は先生方が親切に答えてくれます。これからも智辯和歌山でお世話になった6年で得たものを大切にしていきたいと思います。

OB・OG MESSAGE

卒業生メッセージ

大学合格はゴールではなく、スタートに過ぎません。もっと先を見据えることが大切です。ここには、大学生や社会人として活躍する卒業生から寄せられたメッセージを掲載しています。これらを参考に、あなただけの未来を思い描いてください。

京都大学
工学部

覚野貴之さん
2017年卒



私は6年間をこの智辯学園で過ごしました。大学受験に関して言うならばこれほど良い環境はないと思います。周りを見れば切磋琢磨できる志の高い同級生がいる上に、なんといっても生徒一人ひとりのことを第一に考えて下さる本当に素晴らしい先生方がたくさんいらっしゃるからです。私自身もこの先生方の言葉を信じてついていったお陰で大学受験を突破することができました。また智辯学園は学業の他にも、部活動や学校行事にも力を入れており、私は中学時代のサッカー部、高校時代の応援団を通して貴重な経験を得ることができました。そこで出会えた仲間、得られた経験は私の一生の宝物です。ここで過ごした6年間がこれからも私を支えてくれると思います。

大阪大学
薬学部

山野結衣さん
2017年卒



智辯学園で過ごした6年間、本当にたくさんのものを得ることができました。オーストラリアへの短期留学、チアリーダーとしての野球応援などの学校でしかできない経験をさせていただきました。受験期には生徒一人一人に対し親身になってくれる先生方、高い志を持ち努力している仲間がいたことが私の励みとなり、入学当初から志望していた薬学部に進学することができました。大学では全国から集まってきた優秀な仲間と出会い、ともに学び互いに高めあいながら充実した日々を送っています。卒業したいまも中高6年間お世話になった先生方の言葉や一緒に頑張った友人の存在が私の支えとなっています。

神戸大学
医学部医学科

尾藤ひかるさん
2017年卒



智辯学園で12年間を過ごし様々な経験をしました。プラスバンド部として甲子園で演奏した野球応援やアメリカの姉妹校との交換留学は、この学園だからこそ唯一無二の経験です。また、長い学園生活の中で沢山の素晴らしい出会いがありました。辛いことの方が多かった受験期も、何度も親身に相談に乗ってくださいり適切なアドバイスをくださった先生方、高い目標を持ち共に競い合い励ました友人たちの支えによって乗り越えることができました。12年間のどの瞬間を切り取っても、智辯学園に通えて良かったと思うことばかりです。ここでの出会いと経験に誇りを持ち、感謝の心を忘れず夢に向かって邁進します。

和歌山県立
医科大学
医学部医学科

榎本由梨さん
2017年卒



私は智辯学園に入学してからの6年間、とても有意義な学園生活を送ることができました。受験で合格を勝ち取るために構成された授業の内容はハイレベルで充実したものであり、学校の授業を軸とした効率の良い勉強ができます。また、授業外の活動としても部活動やオーストラリアへの短期留学など多くの事を経験することができ、かけがえのない時間と友人を得ることができます。私が受験を乗り越えたのも、授業を通じた先生方の熱心なご指導や、同じ志を持ち切磋琢磨した友人との交流が自分の確かな自信に繋がったからだと感じています。現在私は、大学で忙しくも充実した日々を送っており、この大学の合格へと導いて下さった智辯学園に深く感謝しています。

国公立大学

大学合格 実績

2018(H30年度)

※文部科学省管轄外大学校

合格者も含む

- 東京大学 7名
- 神戸大学 11名
- 京都大学 21名
- 国公立大学医学科* 57名
- 大阪大学 18名

国公立大学合計*

194人

私立大学

- 早稲田大学 13名
- 慶應義塾大学 5名
- 同志社大学 58名

私立大学合計*

415人

教育の特色I

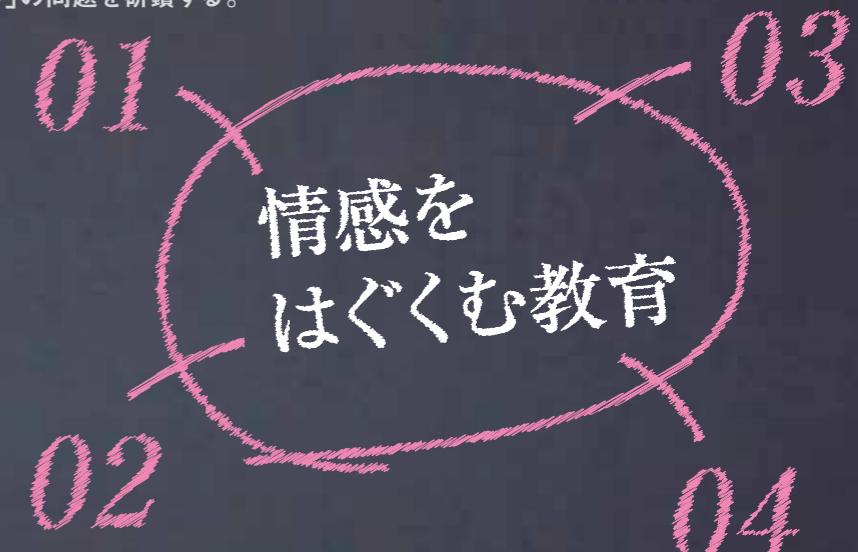
Feature of Education

智辯学園が目標とする「人」は

- 1. 明朗で知性溢れる人
- 2. 自己を確立しつつも社会性豊かな人
- 3. 不屈の精神と使命感を持つ人
- 4. この世に生をうけた幸福を知る人



「宗教」の時間では、
宗教的情操を養い、
「人と心」の問題を研鑽する。



教育の目的は人格の完成をめざすことであるため、「心」の教育は大変重要です。本学園では宗教的観点に立った“情感をはぐくむ教育”を実践し、美しいもの、すぐれたものに接して感動する心豊かな人間の育成を図っています。そのため、「宗教」を必修とし、履修を義務づけています。そのほか、毎日の読経や月一回の「感謝祭」など、あらゆる機会をとらえ、自分自身を見つめ直します。



知力を磨くためには、知識を修得するだけでなく、それを発展的に活用する体系的な思考力も身に付けることが必要です。本学園では1校時を60分とし、週単位時間数や年間授業日数も可能な限り確保。英語、数学、国語の基礎学力の習得に特に配意。さらに十分な時間をかけて授業を行うことで高度な内容にまで理解を深め、思考力・創造力を養います。これにより、生徒が望みうる最高の大学進学の実現をめざします。

教育の特色Ⅱ

三位一体の教育

本学園の教育は相互の信頼と扶助にもとづく努力と創造によって達成されるものと考えています。同じ志の下に集い、努力を惜しまず目標に挑戦する生徒と、本学園の教育理念に賛同し、我が子の成長を願い日々の教育実践を支える保護者、そしてその親の願いを叶えるべく、日々研鑽を積み、情熱をもって生徒に関わる教職員。三人の結束と連携が発揮されることで、本学園に求められるすべての希望と期待が充足されるものと確信しています。



国際人を育てる教育

国際的な教養と感性、国際平和をめざす強い意思は、これから時代にますます重要になります。本学園では真の国際人としての成長をめざし、海外交流を重ねています。アメリカ・ワシントン、韓国・ソウル、オーストラリア・メルボルンにある姉妹校と交換留学を行っています。他国の同世代の若者との交流を通じて、世界平和の重要性の再認識と国際人としての資質を養います。



体験型学習を通して自主性・協調性を養う*

本学園の中学校では各学年でそれぞれ4～5日の野外研修を実施しています。中学1年では曾爾林間学校(国立曾爾青少年自然の家)を開催。これから共に勉学に励む仲間との協調性をはぐくみます。中学2年は三瓶林間学校(国立三瓶青少年交流の家)で団体登山などにチャレンジします。中学3年では一転して海をめざし、淡路臨海学校(国立淡路青少年交流の家)を経験します。野外研修は、雄大さと厳しさを含めて豊かな自然に親しみ、規律ある団体生活を通して、自主性や協調性、リーダーシップや適応力を養う貴重な機会です。

*中・高6年一貫コース



コース紹介Ⅰ

中・高6年 一貫コース

[募集人員] 3クラス 135名

□ 特長 01

早期から大学入試を見据え 効率的なスケジュールで学ぶ。

中学・高校の3・3制の分断システムから脱却し、中・高の学習内容を再編成することで、無用な足踏みや無理な疾走、無意味な重複を避けることができます。その結果、可能な部分ができるだけ進めたり、時間をかけるべきときはじっくり取り組んだりするなど、腰を据えての資質開発が可能となります。



□ 特長 02

成長段階にふさわしい 人間教育で精神面を豊かに。

思春期は精神的に繊細な時期。6年間を通して、一人ひとりに必要な安定した人間教育を可能とするのが6年一貫教育です。安定した環境で学ぶことは、学校離れを起こし、非行化に走りやすい中学・高校生の生活を正常な軌道に乗せる上からも重要なことと考えます。



医師という夢をめざすには、
ベストな学修環境です。

将来、医学部に進学したいと考え、合格実績が一番高いこの学園を志望しました。入学してみて分かったことは、勉強できる環境が整っていることはもちろん、まわりの雰囲気もとても居心地のいいものだということです。クラスには自分にはないものをたくさん持った、個性豊かな友人が多く、日々刺激を受けて充実した毎日を送っています。また、先生方はいかなる時も熱心に指導して下るので、勉強に対する意欲も高まります。将来は、現代医療ではまだ治せない病気で苦しんでいる人たちを一人でも多くの救える医師になることが目標です。のために、この学園で一日一日を大切に、高い目標を持って、日々努力を続けていきたいです。



中・高6年一貫コース
中1 竹内 愛さん

岩出市立
中央小学校出身

難関大学合格に向け、 仲間と高め合い学んでいます。

難関大学への合格実績からこのコースを選びました。先生方は大学入試を見据えた質の高い授業を提供してくれます。進度は速いですが、志の高い仲間と日々切磋琢磨しています。私は数学に興味があり、日々の努力が結果に表れたときの喜びは格別です。なかなか結果が出ない教科もありますが、努力し続けることが大切で、能動的な学習を心がけています。また、模擬試験を通して六年一貫コースの生徒、さらには全国の進学校の生徒と実力を比較することができ、高い意識を保つことができます。この環境を生かし、目標である国公立難関大学合格に向けて着実に力を伸ばしていきたいと思います。



編入コース
中4(高1) 川尻 栄斗さん

海南市立
下津第一中学校出身

編入コース

[募集人員] 1クラス 45名

□ 特長 01

1年間でほぼ2年間分を学習し 6年一貫コースと合流。

中・高6年一貫コースの学習進度が1年分先行していることから、編入コースの生徒は、最初の1年でほぼ2年間分の教科内容を学習します。無理なく円滑に6年一貫教育コースの学習進度に合流できるよう計画的にカリキュラムを編成し、教科内容の精選と授業の効率化にも配慮しています。

□ 特長 02

高校2年次から文系・理系に 分かれ、最終学年では演習中心 で応用力を養う。

編入コースでは高校1年次に進度補正したあと、中学5年生(高校2年)で中・高6年一貫コースの生徒と合流し、同時に文系・理系のクラス分けを実施します。2年次には高校の教育課程をすべて修了し、最終学年では大学入試に備えて演習を中心に取り組み、応用力の培成に集中します。



Two course

2つのコース

中学校からの中・高6年一貫コースは、早期から大学入試を見据え、効率的なスケジュールで学びます。このメリットを、高校からの編入コースでも生かします。いずれのコースも、難関大学に合格できる実力を養うことが目標です。

中・高6年一貫コース

可能性を最大限に引き出し、望みうる最高 の大学をめざす。

中学内容は中2まで終了。中3からは高校内容を取り入れ、高2まで高校内容を終了。高3では、大学入試問題の演習に全力で取り組みます。切磋琢磨しあえる素晴らしい仲間と共に頑張りましょう。



中学校長 鳥居 裕史

中1	中2	中3	中4(高1)	中5(高2)	中6(高3)
中学課程 一期 (基礎力養成をめざす)	高校課程 二期 (実力養成をめざす)	三期 (応用力養成をめざす)			
6年の前期にあたり、中3段階の基礎学力の養成、学習姿勢・学習方法の確立をめざし、総合的思考力の基礎作りとしての訓練を行います。	この時期は心身ともに大きく成長する段階です。この期に6年の主要部分である高校段階の基礎固めと実力の養成をめざします。	6年の総まとめの時期として、総合的な実力の養成を図ります。また、多様化する大学の二次試験などを考慮し、各自の目的に合った合理的な学習と応用力の養成をめざします。			
学年末には高野山合宿があります。家庭学習を含めた、予習→授業→復習の学習サイクルを見直します。	中学課程を修了し、さらに思考力養成のため、応用問題の演習をします。また、夏には貝塚合宿を実施しています。	高校課程を取り入れ、中学課程を拡張することで、合理的で効率的な学習が可能となります。夏には東京大学見学を実施。大学進学がより身近な目標になります。	高校課程は演習によって理解を深めることができます。詳しく丁寧な授業に、ふんだんな演習を加えることで確かな実力を養います。	文系理系に分かれ、それぞれが必要な選択科目を履修します。効果的に深みのある学習により、応用力を養います。	全科目、大学受験に向けての演習を行います。「早朝センター演習」「直前センター演習」により、センター試験対策にも力を入れます。夏期講習、直前二次対策で実戦力を身に付けます。

週あたり授業時間数

●中学校 [60分授業]

教科	国語	数学	英語	理科	社会	他	計
学年							
1	6	6	6	5	3	8	34
2	6	6	7	5	3	7	34
3	6	6	7	3	5	7	34

●高校 [60分授業]

教科	国語	数学	英語	理科	社会	他	計	
学年								
1	6	6	6	5	4	7	34	
2	文	6	6	6	4	8	4	34
理	6	8	6	10	4	4	38	
3	文*	6	6	7	4	8	3	34
理*	6	7	6	8	4	3	34	

*小論文対策、リスニング対策、自由英作文対策の授業に加え、文系では社会科2次対策演習を追加し、受講できます。

編入コース

高校からの課程に
6年一貫コースの
メリットを生かす。

公立中学から本校中・高6年一貫コースに編入するには、進度調整が必要です。高2で無理なく円滑に合流できるよう、計画的にカリキュラムを編成し、教科内容の精選と授業の効率化にも配慮しています。編入コース入学者には、入学前の3月末から補習授業を行います。

●高校 [60分授業]

教科	国語	数学	英語	理科	社会	他	計	
学年								
1	7	9	8	6	3	6	39	
2	文	6	10	6	4	8	5	39
理	6	8	6	10	4	5	39	
3	文*	6	6	7	4	8	3	34
理*	6	7	6	8	4	3	34	

*小論文対策、リスニング対策、自由英作文対策の授業に加え、文系では社会科2次対策演習を追加し、受講できます。

コース紹介Ⅱ

スポーツコース

[募集人員] 1クラス 10名

たゆまぬ努力の大切さと偉大さ、そして感動を。

野球に対して高い技術と情熱を有する精銳が集い、さらに高度なレベルアップを図り、春・夏の甲子園出場をめざすコースです。試合で勝つには、徹底的に基礎練習を繰り返すことが求められます。こうした、たゆまぬ努力が大きな成果に結びつくと考えています。



[野球部]

(昭和54年7月和歌山県高野連加盟)

選抜高校 野球大会 甲子園出場

昭和 60年 3月	第57回		平成 22年 3月	第82回	
平成 6年 3月	第66回	初優勝	平成 23年 3月	第83回	
平成 8年 3月	第68回	準優勝	平成 26年 3月	第86回	
平成 12年 3月	第72回	準優勝	平成 30年 3月	第90回	準優勝
平成 14年 3月	第74回				
平成 15年 3月	第75回				
平成 18年 3月	第78回				
平成 20年 3月	第80回				

国民体育大会 高等学校 硬式野球出場

平成 9年10月	第52回	
平成 11年10月	第54回	優勝
平成 12年10月	第55回	
平成 14年10月	第57回	
平成 18年10月	第61回	
平成 20年 9月	第63回	
平成 21年 9月	第64回	
平成 27年 9月	第70回	

全国高校野球 選手権大会 甲子園出場

昭和 62年 8月	第69回		平成 15年 8月	第85回	
平成 元年 8月	第71回		平成 17年 8月	第87回	
平成 3年 8月	第73回		平成 18年 8月	第88回	
平成 4年 8月	第74回		平成 19年 8月	第89回	
平成 5年 8月	第75回		平成 20年 8月	第90回	
平成 8年 8月	第78回		平成 21年 8月	第91回	
平成 9年 8月	第79回	初優勝	平成 22年 8月	第92回	
平成 10年 8月	第80回		平成 23年 8月	第93回	
平成 11年 8月	第81回		平成 24年 8月	第94回	
平成 12年 8月	第82回	優勝	平成 27年 8月	第97回	
平成 14年 8月	第84回	準優勝	平成 29年 8月	第99回	



智辯学園を誇りに思い自他愛を育む。



甲子園で一体感に包まれる全校応援

選抜高校野球大会と全国高校野球選手権大会、その予選も含めた試合の応援に、全校生徒が参加します。プラスバンド部が奏でるメロディーに合わせて力いっぱい応援すれば、選手たちと心でつながり、「智辯ファミリー」としての一体感を感じられるでしょう。

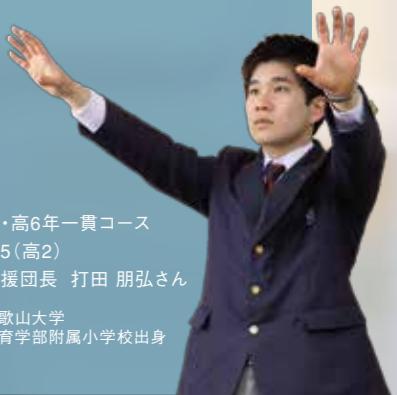
応援練習で
手応えを得る達成感。

応援団とチアリーダーは高等学校の生徒で結成され、各大会の1ヶ月前から本格的な練習をはじめます。当初は振り付けもぎこちないですが、練習を重ねていくと徐々に上達していきます。全員が心を一つにし、素晴らしい全校応援を引き出せた時の達成感は、何ものにも代えられません。



全校生徒を率いる責任を、誇りに感じています。

中学1年生の頃からスタンドで野球応援の興奮、感動を肌で感じてきました。全校生徒が一丸となって全力で応援する一体感のすごさを感じるにつれ、それを率いる応援団にあこがれ入団を強く望むようになりました。応援団は、大会前に結成され、短い期間内に応援の態勢を整え、団員の統一を図るだけでなく、チアリーダー、プラスバンド部との連携も密にしなければなりません。団結して選手を応援する思いを全校生徒に伝え、一体となってその思いを選手に伝えること、それだけを考えて努力を重ねる中で多くのことを学びました。自らを律すること、他者に礼を尽くすこと、思いを伝えることの難しさ、人の絆の大切さ、リーダーシップとは何なのか…解決のつかない難題ばかりですが、これから自分の生き方の大きな指標として歩んでいきたいと思います。



中・高6年一貫コース
中5(高2)
応援団長 打田 朋弘さん
和歌山大学
教育学部附属小学校出身

School Life | スクールライフ

クラブ | Club Activities | スポーツや文化活動を通じて人間関係を築く。

体育部 (中学校のみ)

サッカー／バレーボール／
陸上競技／卓球／
バスケット／テニス／
剣道／少林寺拳法



文化部

新聞／プラスバンド／美術／
演劇／天文／放送／茶道／
写真／ESS／生物／書道／
コンピュータ／箏曲／
囲碁将棋／歴史／合唱／
科学／競技かるた



陸上競技部 (編入コース)

男女とも、ますます躍動しています。

2017年4月、編入コースに誕生した陸上競技部。駅伝を中心に、全国大会での活躍をめざしています。意識高くトレーニングに取り組む部員たちが、全国の舞台で躍進する未来はそう遠くないでしょう。



キャンパスカレンダー | Campus Calendar | さまざまな学校行事で人間性を磨く。

4 April

5 May

6 June

7 July

8 August

9 September

- 入学式・始業式
- 新入生オリエンテーション(新入生)
- 中間考査
- 練成会(高1)
- 身体測定

- 母校訪問(新入生)
- 内科検診
- 育友会総会
- 球技大会

- 学園創立記念日
- 歯科検診
- 音楽鑑賞会

- 学期末考査
- 林間、臨海学校(中学)
- 三者面談
- 留学生来校(米国)
- 高校野球応援
- 韓国研修プログラム

- 留学生来校(韓国)
- 終業式
- 東大見学(中3)
- 貝塚合宿(中2)
- 実力テスト

10 October

11 November

12 December

1 January

2 February

3 March

- 入試説明会
- 中間考査
- 文化祭
- 教育講演会
- 進学指導会
- 体育大会
- 北海道修学旅行(中5)
- 実力テスト
- 卒業記念陶板作成
- 北海道修学旅行(S2)
- 地区懇談会
- 留学生来校(オーストラリア)
- 始業式
- 三者面談
- 終業式
- 入試
- 入学試験(中學)
- センター試験
- 卒業式(高校)
- 入学試験(高校)
- 私立大学入試
- 学年末考査
- センタードリーム
- 終業式
- 高野山合宿(中1)
- 卒業式(中学)

生徒の一日 | One Day | 一日が心身ともにリフレッシュするさまざまな行い。



8:25～

読書時間

興味・関心のある分野の書籍を読み、幅広い教養を身に付けます。



8:35～

読経

始業前の読経で心を静め、決意を新たに1日のスタートをきります。



11:55~12:30

昼休み

お弁当を食べたり、友人たちと談笑するなど、楽しい時間です。



15:50～

(学年・コースによっては7限目もあります。)

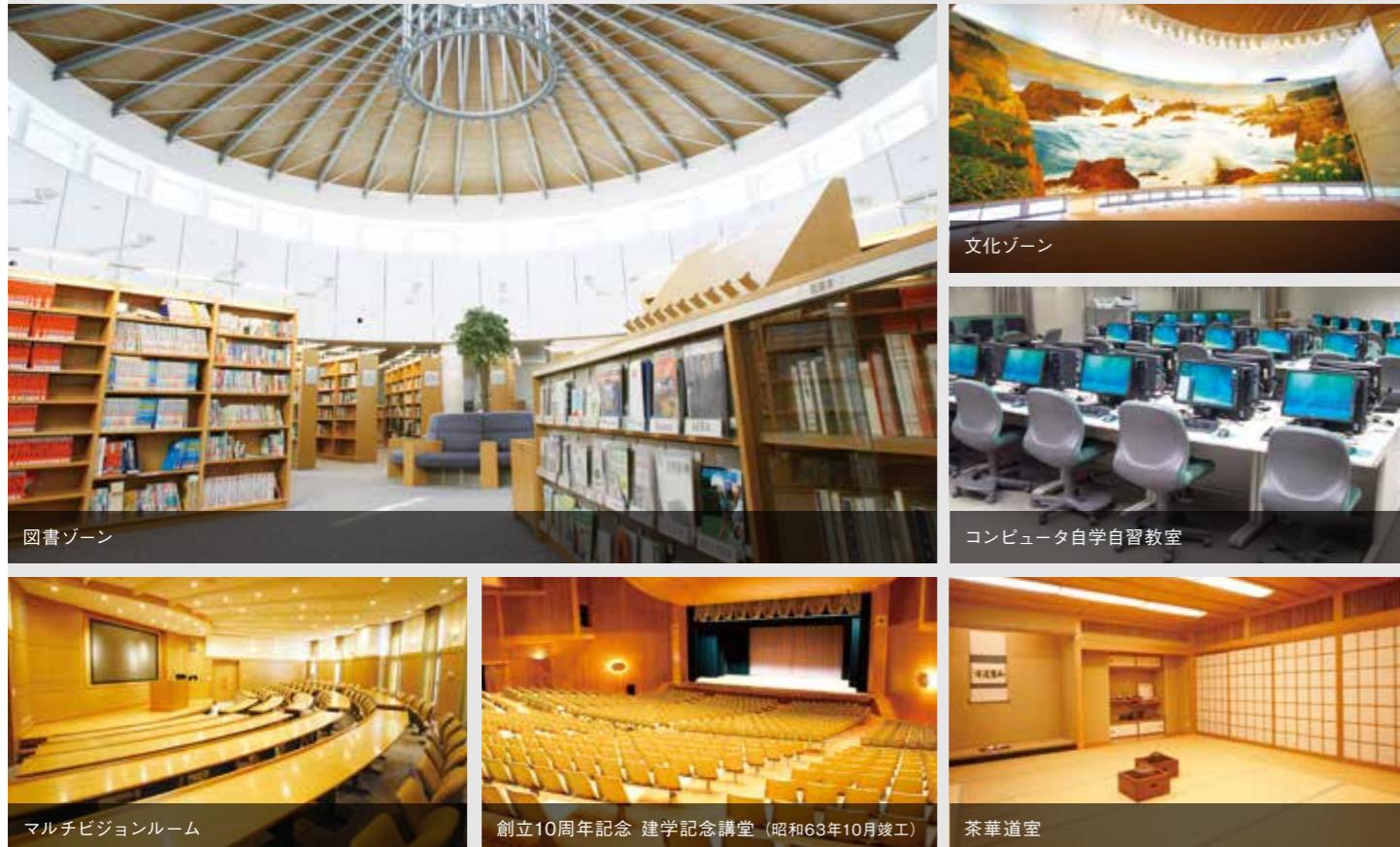
放課後

クラブ活動や補習授業の時間です。図書館の自習スペースで、受験勉強や予復習に取り組む生徒もいます。

校時表 [60分授業]

読書	8:25～8:35
1限目	8:35～9:35
2限目	9:45～10:45
3限目	10:55～11:55
昼食	11:55～12:30
4限目	12:30～13:30
5限目	13:40～14:40
6限目	14:50～15:50
7限目	16:00～17:00

施設・設備 | Facilities | 心身の成長と主体的学びを育む充実の教育環境



[学園について](#) | About Chiben Gakuen | 建学の精神のもと、生徒の能力を最大限に伸ばす素地を養う。

学園の誕生

智辯学園和歌山中学・高等学校は、和歌山県当局の強い要請と藤田照清大僧正の私学教育に懸ける熱意とが醸成し、昭和53年4月に開校しました。設立母体は智辯学園中学・高等学校であり、「誠実・明朗」を教育目標とし、持てる能力の最大開発と、人や物を大切にする心、感謝の心、使命感に燃える人間の育成をめざしています。和歌山県が本学園を招致した所以は、本学園玄関壁の碑文「知事招請の辞」に明記されています。本学園は、設立母体の建学の精神を継承し、さらに大きな前進と発展を使命とします。



知事招請の辞(正面玄関壁)

沿革

- | | | |
|-------|-----|------------------------------------|
| 昭和53年 | 1月 | 第一回入学試験実施(於和歌山大学教育学部校舎) |
| | 4月 | 第一回入学式(於海南省立体育館)
中学82名、高校146名入学 |
| | 11月 | 校舎第二期工事竣工 |
| 昭和54年 | 5月 | 体育館竣工 |
| | 6月 | 竣工記念式典 |
| 昭和56年 | 2月 | 高等学校第一回卒業式 |
| 昭和57年 | 2月 | 校歌制定
(作詞 藤田照清校長 作曲 末吉保雄桐朋大学教授) |
| 昭和59年 | 2月 | 6年一貫教育課程第一回卒業式 |
| 昭和60年 | 4月 | 編入コース設置 |
| 昭和62年 | 4月 | 国際コース設置 |
| 昭和63年 | 1月 | 藤田照清第二代理事長就任、校長兼務 |
| | 10月 | 創立十周年記念式典並建學記念講堂竣工式 |
| 平成元年 | 11月 | 野球専用グラウンド竣工 |
| 平成4年 | 4月 | 新制服制定 |
| | 7月 | 冷暖房設置(全館) |
| 平成6年 | 4月 | 第66回選抜高校野球大会初優勝 |
| 平成8年 | 4月 | 第68回選抜高校野球大会準優勝 |
| 平成9年 | 8月 | 第79回全国高等学校野球選手権大会初優勝 |
| 平成10年 | 4月 | 創立二十周年記念式典並記念図書館竣工式 |
| 平成12年 | 4月 | 藤田清司第二代校長就任 |
| | 4月 | 第72回選抜高校野球大会準優勝 |
| | 8月 | 第82回全国高等学校野球選手権大会優勝 |
| 平成13年 | 4月 | 国際コースをINCに名称変更 |
| 平成14年 | 4月 | 智辯学園と和歌山小学校、第一回入学式 80名入学 |
| | 8月 | 第84回全国高等学校野球選手権大会準優勝 |
| 平成19年 | 5月 | 創立三十周年記念体育館改築 |
| 平成21年 | 12月 | 藤田清司第三代理事長就任、校長昇格 |

校歌

一、	ここ南海の 古代人の 尊女の遺志	神磐台 跡聖く 繼承きて 法の城
二、	黒潮かをり 自然の愛撫に 英気のみなぎる 一途希望に 実力培ひ 稔りの将来に 永に栄光あれ	風潔き 育まれ 青春を 傾倒けて 豊饒なる 備へなむ
三、	生石山並み 指呼の間に いま創造の 使命を双肩に われら母校の 校風けだかく 使命を双肩に 永に栄光あれ	片男波 望みつつ 意気に炎え 名を高め 飾るべき いざ往かむ
	おお吾等が和歌山高校	おお吾等が和歌山高校

学校法人 智辯学園



智辯学園中学校・高等学校
奈良県五條市野原中4-1-51
Tel.0747-22-3191

智辯学園和歌山中学校・高等学校
和歌山県和歌山市冬野2066-1
Tel.073-479-2811

智辯学園奈良カレッジ
<小学校部・中学部・高等部>
奈良県香芝市田尻265
Tel.0745-79-1111

智辯学園和歌山小学校
和歌山県和歌山市冬野2066-1
Tel.073-479-1200

Information | インフォメーション

平成31年度入試 説明会日程表	平成30年 9 / 4 (火) 10:30～ ホテルグランヴィア和歌山(私塾対象)
	9 / 15 (土) 10:00～ エブノ泉の森ホール(泉佐野市)
	9 / 29 (土) 10:00～ 有田市文化福祉センター(有田市)
	9 / 29 (土) 10:00～ 御坊商工会議所(御坊市)
	10 / 6 (土) 10:00～ ガーデンホテルハナヨ(田辺市)
	10 / 6 (土) 10:00～ ホテルいとう(岩出市)
	10 / 27 (土) 13:00～ 本校(和歌山市)

平成30年度
学校見学会日程表

平成30年 4 /28 (土) 12:30～ 〈小学生対象〉
8 /25 (土) 12:30～ 〈中学生対象〉

平成30年度入試 実施日・募集人員

● 中学校

	前期入試	後期入試
実施日	平成30年1月13日(土)	平成30年1月16日(火)
募集人員	100名	35名

●高等学校 編入コース

	併願	専願
実施日	平成30年1月28日(日)	
募集人員	45名(専願・併願)	

平成30年度 出身地域別生徒数

地域 学年	和歌山市	海南市 海草郡	紀の川市 岩出市	橋本市 伊都郡	有田市 有田郡	御坊市 日高郡	田辺市 西牟婁郡	新宮市 東牟婁郡	大阪府	その他	合計
中学1年	105	20	30	3	12	7	7	0	36	4	224
中学2年	114	17	26	0	12	7	4	0	39	2	221
中学3年	121	15	19	4	12	5	5	0	41	1	223
高校1年	111	26	33	2	11	14	6	3	47	5	258
高校2年	131	30	28	2	20	8	7	0	48	5	279
高校3年	111	22	21	0	18	11	4	1	58	3	249
計	693	130	157	11	85	52	33	4	269	20	1454

Access

**始業時間8時35分に間に合う
主要駅の出発時刻の目安**

天王寺、堺、橋本、御坊など、関西南エリアの主要都市は通学圏内にあります。さらに、最寄りのJR黒江駅より徒歩10分の距離なので、通学の負担が軽く、勉学に集中できます。

